

特定非営利活動法人スサノオの風

令和 5 年 度 (第 2 1 期) 活 動 報 告

令和5年4月1日～令和6年3月31日

1 はじめに

新型コロナウイルス感染症が令和5年5月に5類に移行され、次第に人々の動きも活発化してきました。スサノオの風は、創立20周年記念事業として佐田町文化協会との共催により「スサノオの里スーパー神楽 2023」を開催するなど、大小の事業を実施してきました。

スサノオホール、佐田スポーツセンター、文化練習館は、指定管理施設として利用者増加が一つの課題として位置付けられていました。

こうした中、スサノオホールでは前述のスーパー神楽をはじめ、公文協や芸団協の助成事業を活用し鑑賞機会の提供や集客に力を入れてきました。その結果、令和5年度も前年度に引き続き利用者8000人を超えることができました。毎月1回、大ホールを利用した催事が開催されました。

佐田スポーツセンターでは、フットサル大会の減少等、コロナ禍前の利用者数を回復するまでには至りませんでした。

指定管理施設は、設置後40年以上経過しており、設備の故障、トイレの不便性等利用者視点では大きな問題があると言え、利用者増加の足枷になっている面があります。

障がい者就労継続支援施設「やまびこ園」は、令和5年12月末に1名の退職者があり、新人1名を令和6年2月に採用しました。利用者も若干増えましたが、厳しい経営状況を脱するまでには至っていません。

また、昨年度に続き、佐田自治協会「佐田地域戦略会議」「さだ未来ビジョン推進部会」の事務局、令和4年度から取組みが開始された、農村RMO形成推進事業の事務局を担当しました。5年度は、RMO選任社員の専従方式を中止し、社員全体で対応しました。

財政面は横ばい状態で、事業収益約6,226万円、経常費用約6,047万円となり、税引き後約147万円の増益となりました。各種の助成事業の活用、活動に賛同した方からの寄付等当初計画外の収入もありました。

2 基幹会議

2-1 令和5年度社員総会

- 開催日 令和5年7月2日(日)午前10時から
- 開催場所 目田森林公園
- 出席者 48名(うち書面表決者38名) 会員総数71名
- 提出議案
 - ・令和4年度活動報告、令和4年度活動計算書の承認について
 - ・令和5年度活動計画(案)、令和5年度活動予算書(案)について

- ・令和5年度役員報酬額(案)について
- ・字句の一部修正の委任について

2-2 理事会

【第1回理事会】

- 開催日 令和5年9月22日(金)正午から
- 開催場所 スサノオホール 2階会議室
- 出席者 9名 理事総数 10名
- 提出議案
 - ・島根県最低賃金改正に伴うバイト社員賃金の改正について
 - ・佐田地域集落協定広域化に伴う事務局担当について
 - ・佐田地域おたすけ隊設立に伴う事務局担当について
 - ・指定管理施設利用者増加策について
 - ・創立20周年事業に係る会員割引について

【第2回理事会】

- 開催日 令和5年11月22日(水)正午から
- 開催場所 スサノオホール 2階会議室
- 出席者 8名 理事総数 10名
- 提出議案
 - ・社員冬季手当の支給について
 - ・令和6年1月1日からの社員体制について
 - ・農村RMO事業等地域振興担当社員の募集について
 - ・やまびこ園職業訓練指導員の募集について

【第3回理事会】

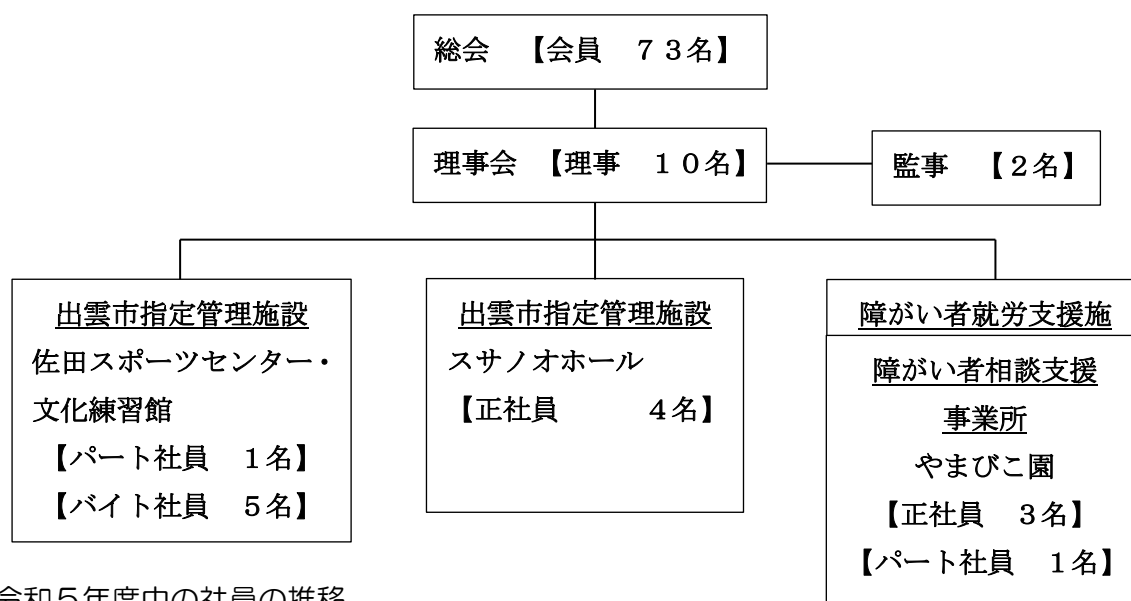
- 開催日 令和6年1月26日(金)正午から
- 開催場所 スサノオホール 展示室
- 出席者 6名 理事総数 10名
- 提出議案
 - ・令和6年度能登半島地震義援金の拠出について
 - ・軽トラック(中古)購入について
 - ・「いずも TOKIMEKI 映画祭 2024」への協賛について

【第4回理事会】

- 開催日 令和6年3月22日(金)午後5時30分から
- 開催場所 スサノオホール 展示室
- 出席者 7名 理事総数 10名
- 提出議案
 - ・令和6年度社員体制について
 - ・令和6年度事業計画(案)について
 - ・令和6年度予算(案)について
 - ・内部留保金の活用について
 - ・令和6年度理事長報酬額について

- ・理事等の報酬及び費用弁償の規則に関する規則の一部改正について
- ・年次有給休暇の規程に関する規程の一部改正について
- ・パートタイマー就業規則の一部を改正する規則について
- ・理事長経験者への退任功労金の支払いについて
- ・正社員への年度末手当の支給について
- ・スサノオホール舞台技術年間委託料について

組織体制（令和6年3月31日現在）



★令和5年度中の社員の推移

- | | |
|----------------|----|
| ・令和5年4月1日現在社員数 | 7名 |
| ・令和5年度中退職社員数 | 2名 |
| ・令和5年度中採用社員数 | 3名 |
| ・令和5年度末社員数 | 8名 |
- ※社員は、パート社員を含む。

3 指定管理施設受託事業

3-1 スサノオホール、佐田スポーツセンター、文化練習館の管理運営

実施区分：委託事業

実施期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

実施内容：指定管理業務仕様書に基づき、各施設の使用受付、利用料金徴収、清掃業務等を実施した。また、利用促進のための自主事業を実施した。（後記）

利用実績：新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、全体的に利用者の増加はみられ

たものの、若干の利用回数の減となった。特に体育館ではフットサル利用が減少傾向となっている。スサノオホールは、昨年に引き続き8000人台を超え、最高値の8,548人を記録した。しかし、佐田地域の利用者は高齢化の影響もあり減少傾向が収まる気配を伺うことが出来ない。施設設備面では、スサノオホール、佐田スポーツセンターとも築40年以上が経過し、老朽化が進行している。特に、スサノオホールの空調設備はいつでも機能不全に陥る危険性を抱えているが対応なされていない。5年度 スサノオホールの機構設備(吊り物滑車)修繕、スポーツセンターの緞帳の取り外しが実施された。

★スサノオホール

年度	利用人数(人)	利用回数(回)	利用料金(円)
令和5年度	8,548	167	1,615,813
令和4年度	8,156	171	1,407,821
対前年比	392	-4	207,992

★佐田体育館・グラウンド

年度	利用人数(人)	利用回数(回)	利用料金(円)
令和5年度	9,768	577	1,066,863
内 体育館	5,944	471	764,633
令和4年度	7,176	590	1,012,896
内 体育館	4,469	486	650,346
対前年比	2,592	-13	53,967

★文化練習館

年度	利用人数(人)	利用回数(回)	利用料金(円)
令和5年度	1,373	97	136,624
令和4年度	1,081	72	158,988
対前年比	292	25	-20,364

市方針：令和5年3月出雲市公共施設あり方指針(第2次)において、スサノオホール、佐田スポーツセンターの方針について提起されている。

【スサノオホール】

統合・複合化 ○老朽化が進んでおり、耐震性に問題がある可能性がある。(令和4年度(2022)に耐震診断を実施) ○耐震診断の結果や今後必要となる改修・修繕費によっては、近隣施設との統合・複合化も視野にあり方を検討する。

【佐田スポーツセンター】

統合・複合化 ○耐震性、安全性等に問題があり、耐用年数の状況からも今後の長期使用が見込めない。○避難所としての機能の確保も必要であることから、近隣施設との統合・複合化も視野に今後のあり方を検討する。

4 文化振興事業

4-1 佐田町文化協会事務局の運営(事業支援)

佐田町文化協会事務局の運営を担当。理事会、評議員会等会議の開催、出雲市文化団体連合会会議への参加。文化協会自主事業への支援。

・スサノオの里スーパー神楽 2023(スサノオの風と共催)・出雲神在月市民芸術文化の祭典
・さだ芸能発表会 2023

4-2 スサノオホール利用促進事業(出雲市委託事業)

★出雲から戦争と平和を考える～写しとる戦争～

開催時期：令和5年8月1日(火)～令和5年8月20日(日)

実施内容：高嶋敏展氏企画制作による展示。島根県内に残る戦争遺構をフロッタージュ(こすりだし)の技法で写しとった作品30点を展示。高嶋氏が勤務する松江工業高等学校定時制美術部に作品を製作していただいた。また、会場では戦争関連の遺物(砲弾、遺構のレンガ、大社基地の破片など)を使用したフロッタージュのワークショップを開催。小学生から高齢者まで多くの方が戦争に触れ、考える機会を持つことができた。

来場者：104人

★写真展「豆の一生」(種子交換会)

開催時期：令和5年8月29日(金)～令和5年10月1日(日)

実施内容：村岡大吾郎氏による種の写真展と種の交換会を実施。種子法など「種」を取巻く問題について、農家の方だけでなく、非農家の参加者も触れる機会となった。農文協の協力もあり、県内外から集められた種の交換会に多くの方が参加された。

来場者：126人

★写真展「目の見えない白鳥さん出雲を撮る」

開催時期：令和6年3月10日(日)～令和6年3月23日(土)

実施内容：「目の見えない白鳥さん、アートを見にいく」の上映にあわせ、白鳥氏が今回のために出雲を撮影した写真展を開催。映画にあわせての写真展は全国初。氏の写真の選出法に基づき、来場者から事前に番号を選出していただいた番号を、多く選ばれた番号の写真は大きく、選ばれなかった番号の写真は小さく、出力し展示を行った。

来場者：204人

★ドキュメンタリー映画祭①「百姓の百の声」

開催時期：令和5年9月2日(土) ①9:30～11:40 ②14:00～16:10

実施内容：自然と向き合い、作物を熟知する百姓たちの叢智を訊ねたドキュメンタリー作品。大切な種子を守る会代表の村岡大吾郎氏による種の交換会や作品の展示、農文協による書籍販売、上映後に柴田監督と地元佐田町で活躍する百姓の方達とのトークイベントを行った。

来場者：157人

★ドキュメンタリー映画祭②「森聞き」

開催時期：令和6年2月18日(日) 9:30~11:35

実施内容：高校生が「森の名人」と呼ばれる人たちを訪ね、その生活や言葉に心を揺さぶられる作品。世代を超えた出会いは何を生むのか。農文協による書籍販売、上映後に柴田監督と来場者でトークイベントを行った。

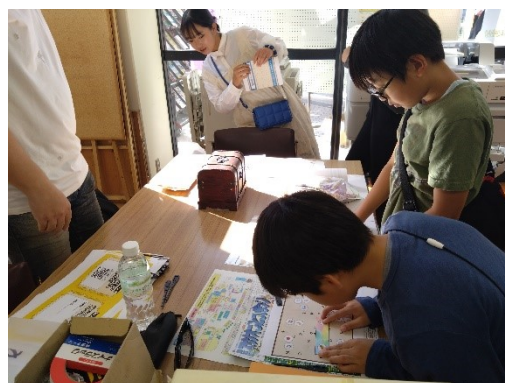
来場者：49人

★謎解きゲーム ～スサノオからの挑戦状～

開催時期：令和5年11月3日(金・祝) 9:30~15:00

実施内容：地域やホールについての学びを深める謎解きを実施した。謎解きの中では、佐田地域をキーワードとした謎や、参加者がごっここいまつりに出店している地域のお店のオススメを記入するなど、関心を高めることができた。

参加者：43人



★宮本美香 Sax Live

開催時期：令和6年3月10日(日) 11:30~12:30

実施内容：山陰を拠点に活動しているサクソ奏者の宮本美香さんをお招きし、サクソライブを開催した。今回は、ロビー及び屋外で開催している、さだのちいさなマーケット cotaba と同時開催ということもあり、気軽にサクソを楽しんでもらいたく、通常のステージではなく、演奏が間近に見れる中通路に特設ステージを設置し、また入場無料で行った。

来場者：100人



4-3 公文協アートキャラバン事業 劇場へ行こう3

①おおたか静流トリビュートコンサート

実施日時：令和5年10月9日（月・祝） 15時から

実施内容：昨年空にかえられた不世出のヴォイスアーティストおおたか静流氏にゆかりあるミュージシャン(白崎映美、浜田真理子、梅津和時、中島恵樹、太田恵資、熊谷陽子、Marino)ら豪華メンバーが集い、1日限りのバンドスタイルで氏の名曲の数々を披露した。また、鑑賞の機会を得ることが少ない養護学校の生徒とその家族を対象に招待を行った。

来場者：171人



②伊藤多喜雄「続・花吹雪コンサート2024」

実施日時：令和6年1月7日（日） 15時から

実施内容：出雲市内で最も過疎が進む地域で、高齢化による担い手不足、活気の低下により文化活動が衰退してきている。佐田町文化協会発足の機運となった伊藤多喜雄氏とTAKiOバンドを34年ぶりに迎えた。また、「稲田姫」「須佐太鼓」の皆さんにも共演いただいた。34年前の活気溢れる佐田町の記憶を呼び覚まし、町全体に刺激を与えることを目的とし、当時のタイトルを用いた。

来場者：113人



5 スポーツ振興事業

5-1 出雲市スポーツ協会佐田支部事務局の運営(事業支援)

出雲市スポーツ協会佐田支部事務局の運営を担当。理事会、評議員会等会議の開催、出雲市スポーツ協会会議への参加。

5-2 「ソフトテニスと軽スポーツを」

100円で遊ぶDAY

実施日時：令和5年10月7日(土) 10時～13時

実施内容：島根県レディースソフトテニス連盟と共催し、ミスノ(株)ナガセケンコー(株)の協力を得、ソフトテニス講習会、ノルディック講習会を開催した。午後からは、レディース連盟会員によるソフトテニス体験会を開催し、体育館の利用促進につなげた。

来場者数：33名



6 福祉事業

6-1 障がい者就労継続支援施設「やまびこ園」運営

実施時期：令和5年4月1日から令和6年3月31日

実施内容：佐田地域内に居住する精神・知的・身体障がい者の皆さんの通いの場として「やまびこ園」を運営した。利用者も若干増加したが、ケース的には複雑化し人員の配置に留意する状況となった。社員1名が定年退職し1名を令和6年2月に採用した。

利用人数：1,791人(延べ)

6-2 障がい者相談支援事業所「やまびこ園」運営

実施時期：令和5年4月1日から令和6年3月31日

実施内容：佐田地域内に居住する精神・知的・身体障がい者の皆さんの相談業務を実施。相談員は3名。

利用人数：113人(延べ)

6-3 出雲市第1号通所事業業務(通所型サービスA)「さだ予防教室」運営

実施時期：令和5年4月1日から令和6年3月31日

実施内容：佐田地域内に居住する、継続的な運動が必要と認められる要支援認定の高齢者を対象に毎週1回予防教室を開催した。

利用人数：延べ503人（47回開催）

6-4 さだ未来ビジョン具現化「佐田おたすけ隊」検討・運営

実施時期：令和5年4月1日から令和6年3月31日

実施内容：さだ未来ビジョンの重点項目としてあげ、令和4年末にさだ未来ビジョン推進部会(生活・福祉WG)が全世帯を対象にして実施した有償ボランティアに関するアンケートを基に「佐田おたすけ隊」の具現化に向け検討を行ってきました。その中で、運営主体をスサノオの風で担うこととなり、募集チラシの作成等に取り組んできました。また、準備経費として(公財)SOMPO福祉財団から助成を受けました。



6-5 高校生の居場所「ほうかごBASE」の設置

実施時期：令和6年3月20日から

実施内容：佐田の課題である高校生の通学問題について、これまでも様々な形で検討がなされてきたが、通学時間の違いなどから、交通手段の確保が難しいとされてきた。そこで、視点を変え、出雲市内に佐田の高校生たちの拠点となる場所を設けることにより、保護者側の迎いの負担軽減を図ると共に、佐田の高校生たちのコミュニティが継続できる居場所を設置した。

場所：カッテゴ BarberShop（出雲市今市町 64-4） 2階を使用
時間：平日 9:00~20:00 土日 8:00~20:00（月曜定休）



7 中山間地域振興事業

7-1 さだのちいさなマーケット cotaba

実施期間：毎月第2日曜日 8回開催（8、12～2月は休止）

実施内容：飲食や雑貨等の出店や、佐田地域内外の文化団体や音楽活動をする方のミニステージなど地域の賑わいを創出するために“コタバ”を開催した。

来場者数：延べ1,200人（出店者、関係者、スタッフ含む）



7-2 農業体験とキャンプのハイブリッド型農村体験事業(農キャン トライアスロン)

実施期間：令和5年6月3日(土)・4日(日)、10月15日(日)

実施内容：中山間地の振興及び農業における担い手不足を解消するために、地域資源を活用した、キャンプと農村体験を組み合わせた事業を実施した。農業体験は、(農法)橋波アグリサンシャイン、交流会は橋波振興協議会の協力を得た。結果として、関係人口の創出、地域イベント(橋波え～農祭)につながった。

参加者数：8名

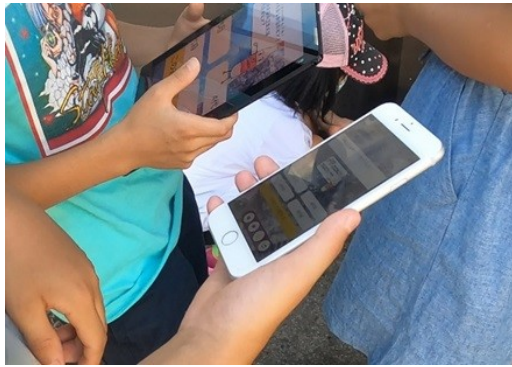


7-3 ARスタンプラリーさだモン

実施期間：令和5年7月1日(土)～8月31日(木)

実施内容：昨年に引き続き佐田地域内16か所に潜む“さだモン”を、ARアプリを用いて探索するスタンプラリーを実施し、地域が持つ魅力を発信した。

参加者数：12組 35名 【一般社団法人中国建設弘済会 助成事業】



7-4 佐田自治協会「佐田地域戦略会議」「さだ未来ビジョン推進部会」事務局運営

実施期間：令和5年4月1日から令和6年3月31日

実施内容：佐田自治協会の委託を受け、「佐田地域戦略会議」「さだ未来ビジョン推進部会」の事務局を担当し、さだ未来ビジョンの具現化を図ってきた。部会に5つのワーキンググループが組織化され、特に「生活・福祉WG」「農業・景観WG」「教育・子育てWG」で具体的な事業が展開された。

7-5 佐田地域づくり協議会(農村RMO形成推進事業)事務局運営

実施期間：令和5年4月1日から令和6年3月31日

実施内容：令和4年度から農林水産省の新規事業として開始された「農村RMO形成推進事業」に佐田地域が採択されたことを受け、事業の推進母体の佐田地域づくり協議会の構成員として参画、事務局を担当した。特に中山間地域直接支払制度(集落協定)の広域化、有機栽培の推進を図る事業を実施した。社員体制は、令和6年2月末まで専任を配置せずに行った。



7-6 第3種旅行業

実施期間：令和5年4月1日から令和6年3月31日

実施内容：新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたのに伴い、自治会・グループ活動としての旅行手配やバス手配、乗車件手配等の業務が増加傾向となった。

7-7 佐田がんばる塾の開催

実施期間：令和5年4月1日から令和6年3月31日

実施内容：(公財)YS市庭コミュニティ財団の助成を受け、県内外の講師を招き、タイムリーなテーマの基に学習会を開催した。また、番外編として令和6年3月6日(水)ドキュメンタリー映画を上映した。

第8回 R5.5.20 講師 松場奈緒子 テーマ「子育て」 12名参加
内容：大田市大森町での子育て支援活動について

第9回 R5.6.25 講師 河野美知 テーマ「情報発信」 11名参加
内容：農産物を活用した商品開発と販売促進するための情報発信の大切さを提起

第10回 R5.7.25 講師 浜崎 浩 テーマ「仕事・定住」14名参加
内容：雲南市での特定地域づくり事業協同組合の組織化過程・課題点、行政との関係性を説明

第11回 R5.9.6 講師 渡部祥太郎 テーマ「情報発信」 13名参加
内容：SNSの効果的活用方法について

第12回 R6.3.6 番外編 ドキュメンタリー映画「若者は山里をめざす」
20名参加

7-8 情報発信事業

実施期間：令和5年4月1日から令和6年3月31日

実施内容：スサノオの風情報誌「風のたより」3回発行、ホームページ、フェイスブック、インスタグラム、ライン(サダイズム)を積極的に活用し情報発信を行った。

8 その他の事業

8-1 島根大学教育学部 作野広和教授と連携をとり「さだラボフォーラム」の開催、卒業論文基礎データ収集への協力を行った。

8-2 出雲市文化施設「朝日たたら」の管理業務を受託した。

8-3 出雲市レンタサイクル貸出業務を受託した。

8-4 佐田中学校職場体験学習で2名の生徒を受け入れた。

令和5年度事業の実施に関する事項
 (1)特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲および人数	支出額(千円)
①文化、芸術、福祉の向上に関する事業の普及と宣伝	「文化団体活動支援」 佐田町文化協会の事務局を担当した。	通年	スサノオホール	2名	380人	0
②文化、芸術、福祉の向上に関する事業の企画及び実施	「スサノオの里スーパー神楽2023」 法人創立20周年記念として佐田町文化協会と共催し、出雲神楽、石見神楽が共演するスーパー神楽2023を開催した。	R5.5.28	スサノオホール	5名	550人	250
	創立20周年記念事業「おおたか静流トリビュートコンサート」 過去公演していただき昨年逝去されたおおたか静流さんを偲び様々なアーティストが参加するトリビュートコンサートを開催。公文協の助成を受け実施した。	R5.10.9	スサノオホール	5名	171人	2,607
	創立20周年記念事業「伊藤多喜雄 続花吹雪コンサート」 佐田町文化協会設立のきっかけとなった1990年の花吹雪コンサートを「続」と銘打ち開催。佐田文化協会加盟団体(須佐太鼓・稲田姫)との共演した。芸団協の助成を受け実施した。	R6.1.7	スサノオホール	5名	113人	3,280
	ドキュメンタリー映画祭 農村RMO事業に関連したドキュメンタリー映画「百姓の百の声」「森聞き」を上映し、製作監督(柴田氏)とのトークショーも実施した。	2023/9/2 2024/2/18	スサノオホール	5名	206人	746
	「市民のアート展」 高嶋敏展氏の協力を得、出雲から戦争と平和を考える～写しとる戦争～として戦争遺跡のフロタージュの展示。村岡大吾郎氏の協力を得、写真展「豆の一生」。盲目の写真家 白鳥健二さん写真展「目の見えない白鳥さん、出雲を撮る」を開催した。	通年	スサノオホール	2名	434人	130
	宮本美香 サックス ライブ	R6.3.10	スサノオホール	5名	100人	183
	さだのちいさなマーケットcotabaに合わせ、島根県内外で活躍するサックス演奏者 宮本美香さんを招いてライブを開催した。ステージは中通路に設置し、好評をえた。					
③文化芸術活動での各種講演会等への講師派遣	今年度は実施していない。					
④社会教育、まちづくり及び子どもの健全育成等を目的とした事業への援助及び協力	「佐田地区青少年育成協議会事業への協力」 今年度は実施していない。					
	高校生の居場所「ほうかごBASE」 出雲市街地の高校に通学する生徒の放課後の居場所として、出雲市役所付近の理容店2階に設置した。この企画は、教育・子育てWGが行い、メンバーの1人である長島氏の協力を得た。	2024/3/20	出雲市今市町	6名	5人	58
	謎解きゲーム ～スサノオからの挑戦状～ 地域やホールについての学びを深める謎解きを実施した。謎解きの中では、佐田地域をキーワードとした謎や、参加者がごっこいまつりに出店している地域のお店のオススメを記入するなど、関心を高めることができた。	2023/11/3	スサノオホール外	4名	43人	108
⑤スポーツの推進を目的とした事業の企画及び実施	「出雲市スポーツ協会佐田支部の活動支援」 出雲市スポーツ協会佐田支部の事務局を担当した。	通年	佐田地区内	2名	2800人	0
	「ソフトテニスと軽スポーツを」100円で遊ぶDAY 法人創立20周年記念として島根県レディースソフトテニス連盟と共催して開催した。ミズノ(株)ナガセケンコー(株)の協力のもと、ソフトテニス体験会、ノルディック講習会を開催することができた。	R5.10.7	佐田スポーツセンター	3名	33人	40
⑥スポーツの振興を目的とした各種講習会等への講師派遣	今年度は実施していない。					
⑦障害福祉サービス事業	「就労継続支援施設 やまびこ園の運営」 精神・知的・身体障がい者を対象とした就労継続支援施設「やまびこ園」の運営を実施した。利用者の増員にも努めた。	通年	やまびこ園	5名	1,791人	14,598
⑧相談支援事業	「障がい者相談支援事業」 障がい者の生活支援、福祉サービス利用等の相談業務を実施した。また、出雲市の委託を受け、障がい程度区分認定調査業務を実施した。	通年	佐田町内	2名	113人	879
⑨高齢者の介護予防、生活支援に関する事業の企画及び実施	「さだ予防教室」 出雲市からの委託で高齢者の引きこもり防止等を目的に、毎週火曜日介護予防教室を開催した。開催回数は47回。	通年	潮の井ふれあいセンター	5名	503人	891
	「佐田おたすけ隊」実施準備	2024/2/2/1	佐田町内	10名	2,800人	982
	「さだ未来ビジョン」の重点項目である有償ボランティア制度による生活支援制度を生活・福祉ワーキンググループと協働し構築を図った。助成事業を活用して備品等の購入を実施した。					

⑩健康づくり及び介護予防を目的とした各種の研修会等への講師派遣	今年度は実施していない。						
⑪スサノオホール、佐田スポーツセンター等公立施設の管理運営業務の受託	「指定管理業務の受託」 スサノオホール、佐田スポーツセンターの指定管理業務を実施した。	通年	スサノオホール・佐田スポーツセンター・文化練習館	11名	19,689人	30,936	
⑫佐田地域の集落・団体支援及び研修事業等の企画及び実施	「農村RMO事業」「佐田地域戦略会議」「さだ未来ビジョン推進部会」事務局支援 佐田自治協会の佐田地域戦略会議及び専門部会（さだ未来ビジョン推進部会）の事務局及び佐田地域づくり協議会（農村RMO形成推進事業）の事務局を担当した。	通年	スサノオホールほか	5名	2,800人	1,001	
	「島根大学 佐田サテライトラボラトリー支援」 島根大学を主として佐田地域の地域課題を共に研究した。また、さだラボフォーラムの開催に際し協力を行った。	通年	スサノオホールほか	5名	2,800人	0	
	「農×キャン×トライアスロン」 農業体験とキャンプのハイブリッド型農村体験事業をしまね社会貢献基金の助成を受け実施した。参加者と橋波地区の皆さんとの交流も出来た。	R5.6.3～4	佐田町内	5名	55人	225	
	「佐田がんばる塾」の継続 佐田町の課題解決に向けての学習会「佐田がんばる塾」を継続開催した。令和6年3月には番外編としてドキュメンタリー映画「若者は山里をめざす」を上映した。	通年	佐田町内	5名	70人	379	
⑬ツーリズムの企画立案と実施事業	「佐田魅力発見ツアー」 今年度は実施していない。						
	第3種旅行業の実施 佐田地域の方を対象に旅行企画や航空券等の手配を実施した。	通年	佐田町内	1名	30人	213	
	「ARスタンプラリーさだモン」 佐田町内16か所に潜む“さだモン”を見つけ出し、出題されるクイズに答えスタンプを集める周遊型ARスタンプラリーを実施した。（3年目）	R5.7.1～8.31	佐田町内外	2名	35人	219	
⑮地域関連グッズ等の商品開発及び販売事業	「さだのちいさなマーケットcotaba」 佐田町内外のショップを招き、4月～11月、3月と月1回、マーケットを開催した。	R5.4～R6.3	スサノオホール内外	5名	1,200人	178	
⑯その他この法人の目的を達成するために必要な	八幡原交流施設「結」の運営 （社福）やまゆりから借用している古民家に障がい者通所施設、「やまびこ園」と住民交流スペースを設け維持管理等を実施した。	通年	八幡原交流施設	4名	10	948	
	広報活動 季刊広報誌「風のたより」を3回発行する等、ホームページ・SNSを積極的に運用した。	通年	佐田町内外	5名	2,800人	34	
	法人創立20周年記念事業 法人創立20周年を記念し、スサノオの里スーパー神楽2023、ソフトテニスと軽スポーツ 各種コンサートを実施した。人数、支出額等前記のとおり	通年	佐田町内	5名	15人	31	

(2)その他の事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲および人数	支出額(千円)
イベント各種のチケット販売	委託を受けチケット販売業務を行った。	通年	スサノオホール	5名	10人	0